

学校だより

豊かっ子



喜多方市立豊川小学校
令和3年12月23日(木)
発行者 校長 遠藤 信恵
第17号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成

◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

第2学期が終了しました

ご支援・ご協力に心より感謝申し上げます



83日間の第2学期が終了しました。コロナの感染拡大の中で迎えた2学期、宿泊学習が日帰りになったり修学旅行が11月に延期されたりと、学校行事の変更や対外的な行事の中止など、学校教育にも様々な影響がありましたが、子ども達がコロナに負けず、元気に生活できたことをうれしく思います。子ども達はそれぞれの目標に向かい、83段の階段を登ってきました。時には、止まってしまったり降りてしまったりしたこともあったかもしれませんが、しかし、よかったこともそうでないことも、すべてが子ども達の成長の糧であり、83日前と比べて確実に成長しています。保護者の皆様・地域の皆様には、この2学期も温かいご支援・ご協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。後期の「学校教育に関するアンケート」の結果等をもとに、成果と課題を明確にして第3学期につなげてまいります。

明日から子ども達が楽しみにしている冬休みです。クリスマスや年末年始の様々な行事があり、人が集まる機会も多くなります。感染防止には十分に注意していただき、健康で楽しい冬休みになりますようよろしくお願いいたします。どうぞよいお年をお迎えください。

けがや事故のない冬休みに！

冬休み：12月24日(金)～1月10日(月)

静岡県や愛知県で、高齢者が運転する車が子どもの列に突っ込み、複数の子どもが負傷するといった重大交通事故が連続で発生しました。冬休みは路面が凍結したり、積雪により道幅が狭くなったりして、一層危険度が高まります。子ども達を交通事故の被害から守るため、以下の点につきまして、ご家庭でも具体的にご指導をお願いいたします。

- 交差点での一旦停止と左右の安全確認、信号を守などの交通ルールを遵守する。
- 道路を横断するときは、手を上げるなどの意思表示をする。車が来ないことを必ず確認してから横断する。
- 道路での飛び出しや道路上での危険な行為はしない。
- 路肩の雪の上に上がったり、狭い道で2列・3列になって歩いたりしない。
- ポケットに手を入れての歩行は非常に危険なので、手袋を着用する。
- 雪玉を人や車にむかって投げたりしない。(悪ふざけが大きな事故につながる。)



愛する自分を大切に ～薬物乱用防止教室～

6日(月)、会津喜多方ライオンズクラブの方を講師に、6年生で薬物乱用防止教室を行いました。DVDを観ながら、薬物が脳を破壊することや依存性の高さ、後遺症などについて学びました。薬として覚醒剤の使用が始まり、日本でも戦争の時に兵隊に使用されていたことなど、薬物の歴史についても教えていただきました。また、普段飲んでいるコーラやコーヒー、栄養ドリンク、エナジードリンク等も、体に影響があることや依存性が高いことを知って驚いていました。子ども達は、薬物が本人の心と身体だけではなく、家族や友達までも巻き込み人生を破壊していく怖さを実感し、自分を大切にしようという思いを強くすることができたようです。



「令和3年度 メディアに関する標語」の入賞者

喜多方一中学区学校保健委員会の取組であるメディア標語づくりへ、親子で取り組んでいただきましてありがとうございました。どれもよく考えられたすばらしい標語です。

【最優秀賞】

- 1年生部門 上野 想太さん 「ノーメディア 今日はいちにち 目の休日」
- 2年生部門 新国小百合さん 「まもろうよ ゲームの時間と かぞくのきずな」
- 3年生部門 佐藤 愛翔さん 「返事はね スマホ見ないで 顔を見て」
- 4年生部門 渡部 礼士さん 「メディアオフ 本の世界に テイクオフ」
- 5年生部門 宮澤 香凜さん 「NOメディア 自然とふれあい 脳元気」
- 6年生部門 遠藤 健矢さん 「画面見ず 相手の顔見て 笑顔見て」



【優 秀 賞】

- 1年生部門 渡邊 遥月さん 「メディアオフ 家族のスマイル 充電完了」
- 2年生部門 江川 友香さん 「スマートフォン ベんりときけんは かみひとえ」
- 3年生部門 生江 嵐さん 「ケータイは 時間を決めて 場所決めて」
- 4年生部門 中川 航佑さん 「やめられない そうなる前に 画面オフ」
- 5年生部門 雪 舞依夢さん 「テレビ消し 勉強 運動 お手伝い」
- 6年生部門 風間 晴仁さん 「オフラインで ぼくのやる気は ONになる」



第2回「オフ・スクリーン強化週間」の結果(11/17~23)

家庭学習時間と読書時間は、ほとんどの学年で前回（10月）より減少し、4年生以上ではめやすとなる学習時間にとどいていません。また、読書をしない児童が全学年にいました。メディアにふれた時間は、3・4・6年生では減少しましたが、その他の学年では増加しました。1日0～5時間と個人差がかなり大きく、メディア使用が長時間の児童は、脳や体への影響が心配です。ぜひ冬休みは、家庭学習、メディア、読書、それぞれの時間を決めて生活できるよう働きかけをお願いいたします。（心理学的な研究でも、小学生の学力には、特に自分の感情や欲求をうまくコントロールできるかどうかと関係していることが確認されています。）

* 家庭学習・読書・メディア時間の1日平均 *

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
家庭学習時間(分)	28.0	30.1	54.9	42.0	56.2	56.0
読書時間(分)	17.3	13.6	16.2	20.6	23.2	18.7
メディアにふれた時間(分)	52.0	40.1	32.8	62.0	86.8	78.4
平日(分)	47.2	36.3	26.9	49.0	76.9	72.8

* おうちの方からの感想を紹介します *

- ・学習時間以外はメディアを見るのではなく、読書やぬり絵、絵描きなどを行いました。それが苦痛ではなく、自分の生活として行えているようなので、よいことだと感じています。
- ・毎日どのくらいメディアにふれているかや、学習時間や読書時間なども表にしていくと分かり、メディアにふれている時間の方が多くなった生活になっているので、これからは本当に十分気をつけていかなければならないと感じました。せめて、1時間以内で終わらせるようにしていきたいです。

受賞おめでとう！

◇ 喜多方市防火ポスターコンクール

小学校高学年の部 特別賞 4年 渡部 礼士さん 6年 十二村南斗さん
入選 6年 中川 桃歌さん



◇ JA 共済福島県小中学生書道・交通安全ポスターコンクール

奨励賞 4年 高橋 美羽さん 6年 須田 結奈さん
優良賞 6年 長澤 南成さん

◇ ミルキー図画コンクール

優秀賞 6年 折笠 凜さん
優良賞 5年 雪舞依夢さん